愛知岳連ニュース

発行所　愛知県山岳連盟
発行人　安藤武典
編集人　中平等新一
名古屋市天白区中平3-1902
TEL&FAX 052-802-8062

◈ 2月24～25日　雪山技術講習会・研修会（大日ヶ岳）　http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/

PHOTO　中平等新一

年のはじめに

安全登山の一層の啓発活動を！

会長　安藤武典

明けましておめでとうございます。希望に満ちた明るいお正月をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は私たちの仲間の山岳事故も数件発生してしまいました。また、春には栃木県の高体連の講習会では痛ましい事故も発生しております。これらは防ぐことが出来た事故ではないかと思われる部分もあり、今後は判断のできる登山者の育成のためさらなる安全登山の啓発活動（意識・知識・技術）の必要を感じております。

一方、愛知県の高体連の行事は活況を呈しており、関係者の方々のご努力に感謝するとともに、今後この若い人たちが愛知岳連の力になってくれるような方策検討も必要と思っています。

さて近年、岳連の行事の運営を少しづつでも変えていきたいなと発信しておりましたが、実際はほとんど改善することができませんでした。まず、岳連の各行事を一人で担当するのではなく、複数で企画・運営ができたらと思います。一人で行事を進めることは結構つらいこともあり、おもに常任理事の人々に負担をかけてしまっているように思います。そんな行事運営も複数で関わることにより、楽しさや達成感が芽生えるのではないかと思います。それにはまず、理事、各委員会の方々に岳連の役員として受け身ではなく運営側で参画して頂きたいと思います。そして理事の方々から会員一人一人に仲間意識が伝わればいいなと思います。世相はこうした仲間意識が希薄になっていると言われております。しかし、岳連は登山、あるいはクライミングという共通の想いを持った人たちの集まりです。一緒に動けば心がつながると思います。今年はぜひ皆さんの力で岳連を盛り上げていただけませんか。ご協力をお願いし、年頭の挨拶とさせていただきます。

無雪期救助技術講習会開く

好評！山岳医らと実践的訓練

９月30日・10月１日の両日、鈴鹿の北谷小屋周辺で、指導員、受講生ら31人が参加して、救助技術講習会が開催されました。

今回の講習会の特長は２つありました。１つは山岳医・三浦裕先生、山岳看護師・浦川陽子さんの山岳事故に特化した救助講習（応急処置）が実施されたこと。もう１つは講習会場が、例年の鞍ヶ池公園から鈴鹿に移されより実践的に行えた点です。

救助講習（応急処置）では、１日目は骨格模型と頭蓋骨＆首模型を使っての滑落で首を痛めての脊椎の障害、胸を痛めての肺気腫の障害とそれらの対処法も含め救助全般についての講習が行われた。

２日目は登山道の崖下で「けが人」を発見したとの想定で救助の寸劇をしていただき、１日目の講習内容を思い出しながら、救助の対応についてどこに問題があったかを皆で話し合い、非常に勉強になりました。また、肺の怪我の対応としての三辺テーピング法での処置方法、毛布を使った頸椎（首）の固定方法など、通常の研修では教えていただけないことも色々教えていただきました。

縦走コースの講習の１日目は読図とロープワーク。会場が鈴鹿に移されたことで、より実践に即したものになりました。コースは北谷小屋から山岳寺跡を経てハライドに向かう踏み跡の少ない登山道です。全員が交代で先頭に立ち、地図とコンパスを使い現在地と進行方向の確認、次に来る地形の予測をしながら読図の難しさも実感し、ハライドの頂上に立ちました。山頂では強風下でのツエルトを張る研修もできました。帰路の急登では講習生に交代でフィックスロープを張ってもらい、簡易ハーネスを使いフリクションでの登り下りの訓練ができました。

２日目の搬送研修では、ザックとポールを使った背負搬送を練習しました。みんなで交代で実際に人を背負い、重さを体感し、ストックを使用したり手で補助をしながら登り下りがどうしたら安全確実にできるか、搬送の交代がスムーズにできるかを検討しました。

研修の最後は総合訓練で、けが人の頸椎を固定し、背負搬送しながら実際の登山道を下り、途中で搬送者を何度か交代し、難しい個所にはロープを張りビレイをしながら北谷小屋まで降ろしました。

北谷小屋の宿泊では酒も入り、三浦先生の蝶ヶ岳診療所での出来事や、各講師の山での体験談も聞くことができ、楽しいなかにも勉強になることがたくさんありました。

今回の講習は、今まで以上に受講生の皆さんが実際に使える講習会になったのではないかと思います。

（指導員・二嶋　信）

講習会に参加して

印象深い２つの講習

岡崎山岳会
吉田　文子

２日間の救助講習会のBコースに参加させて頂きました。

１日目は岩場での自己脱出、登り返し、介助懸垂、夕方は国際山岳医の先生による講義。

２日目は要救護者の搬送を講義の後で実際にシュミレーションしました。私的に２つの講習が印象深いものでした。

１つはクライミングをするうえで大事な１日目の岩場の研修です。日頃何かアクシデントが起こったとき何もできないであろう自分を自覚していたので自己脱出の方法を教えて頂いただけでも大きなことです。練習して身につけておきたいと思います。

もう１つは２日目のシュミレーションです。実際に怪我した人を運ぶノウハウとチームワーク、また、場合によっては限界まで頑張らずに助けを呼ぶほうが最善なこともあると身を以て学ばせて頂きました。

有意義で楽しい２日間でした。ありがとうございます。

ビギナーから安心して選べる三河地区のプロショップ
エキスパートまで
JR刈谷駅前
穂高
〒448 刈谷市桜町1-13
TEL0566(23)8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00～20:00
登山用品豊富！

CLIMBING PARK　東三河初のクライミング施設
ROCKS
http://climbing-park.com　☎0532-26-3737
住所：愛知県豊橋市関屋町138番地
MONTANIA
モンタニア
住所　愛知県豊橋市萱町5番地　☎0532-55-0125　http://www.montania.jp

理解しやすい講習！

豊川山岳会
遠山 泰広

山岳会に入会して3年目、縦走に加えて雪山登山やクライミングにも参加するようになり、救助技術の必要性を感じ参加させて頂きました。

読図山行では不明瞭なコースを使った読図のポイントやロープを使用した危険個所の通過方法を実践形式で体験させて頂きました。救助搬送ではザックとストックを使用して、負傷者を担いで搬送する方法を実践で教えて頂きました。実践に近い形での講習を受けることにより、自分が非常時にどのように行動すれば良いのか明確になりました。

また、救助講習では模型を使った臓器の機能説明から、救助者の発見から救助要請までの一連の流れを寸劇にて見させて頂きました。

実際に目の前で実演をして頂くことにより、大変理解しやすく勉強になりました。今回の救助講習会で得た知識を安全な登山を行うために活かしていきたいと思います。

「本宮山で――県民登山教室」歩き方・用具の使い方

県民登山教室が9月23日(土)本宮山に於て行われ、一般、役員ら13人が参加する。

最初に講師の岩瀬指導員から挨拶を兼ね、講習内容の説明があり実習になりました。

まず、スマホの地図アプリ「ジオグラフィカ」とコンパスを利用して、配布された地形図をもとに地形や人工物を確認しながら登り、途中で歩き方、休み方、ストックの使い方も練習し山頂に向かう。

山頂では大休止後、ツエルトを利用したビバーク方法を行い、急な天候悪化、救助待ちなどいざという時に便利なツエルト、ふだんあまり使用する機会がないので、しっかり練習しました。

また、ザックを使った搬送方法を行いました。負傷して歩行不能になった場合に活用できる技術です。搬送者の交代方法も重要です。

下山後、装備品の紹介がありました。登山にはいろいろな装備が必要です。講師の小さいバッグには種々の装備品が詰められていますが、超計量にまとめられており、しかも日帰り登山でこれだけ装備を持っていれば安心だといわれます。

最後はまとめて講習の感想が述べられ、15時30分解散となりました。

(多田純一)

印象に残った私の登山 15

GWの蝶ヶ岳登山

イノアック山岳部
徳永 三男

平成23年5月のGWに、今年4月に永眠した大竹利之さんと行った蝶ヶ岳です。

まだ本格的登山を始めて3年目の春山でした。この日は朝の内は天気も良く午前8時半頃、三股から登り始めた。GWだが登山している人は少なかった。まめうちだいら辺りまでは順調だった。トラバース跡があまりなく地図と木の枝にある赤リボンを目安に登山していた。時々迷う箇所があり、勾配がきつくなってきて二人ともペースが落ちてきた。予定では山小屋に午後2時前到着予定だったが、午後5時を過ぎても山小屋は見えてこず、暗くなると体力も落ち始めた。このまま進んでもダメだと思い大竹さんに「平らなところを見つけてビバークしよう」と言った。そして、いつもツエルトは入れていたので紐で木にくくりつけて簡易テントを張った。テントの中で夕食を摂った。問題は睡魔である。北アルプスの春山は雪が残っているため、発砲ポリエチ板だけでは寒く、シュラフの中に入り二人で眠らないようにお互いに話しながら一晩過ごした。深夜の1時～2時頃が一番辛かった。時折吹雪もあった。

翌朝は明るくなったらすぐに朝食を摂り、体力もなかったので登頂を諦め下山することにした。下り始めの時にザックの上部に入れていた財布がないことに気がついた。あわてて、来た道を登り返したが見当たらず諦めた。下山中、時折吹雪とゴーッという風の音が聞こえた。下山はさほど迷うことなく昼過ぎに下山した。下山後、財布が自分の変わりに犠牲になったと思った。

帰宅後、家内に話したら笑っていた。

どの山も登頂して晴れていれば眺めが良いので、どの山が良いというのはないが、印象に残る登山と言えば蝶ヶ岳で、一生忘れられない山です。

その夏、蝶ヶ岳と常念岳を縦走したことを追記しておきます。

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい（帰化）、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002　名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から2分の) 丸の内東桜ビル1004号室
TEL：090-4857-9130
URL：http://www.nygs-office.com/

うなぎ錦三丁目 いば しょう
いば昇
〒460-0003　名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL〈052〉951－1166番
営業時間　午前 11:00～午後 2:30
　　午後 4:00～午後 8:00
定休日　日曜日・第二・第三月曜日

高体連

台風を気にし秋期登山講習

名古屋市山岳連盟　河野義人

10月28日(土)、29日(日)に鈴鹿の朝明渓谷周辺で、名古屋市山岳連盟の主催で秋期登山講習会を開催しました。講習会の中心場所は、朝明茶屋で、室内の講習や炊事、宿泊とお世話になりました。

今回は、台風22号の接近で、天候に不安がある中だったので、やはり参加を申し込んでいたいくつかの高校は、参加辞退ということになりました。それでも、9校108名の高校生、付き添い顧問や講師24名と、ここ数年と比べると少ない人数でしたが、それなりに賑やかな講習会となりました。

28日は、三重交通に菰野から朝明まで臨時のバスをだしてもらい、各校ごとに朝から入山しました。午前中は、曇り時々雨という状況で、2週間後に行われる、高等学校新人大会の踏査コースを確認しました。

この講習会には、大きく二つの目的があります。一つは、「読図」「気象・天気図」「自然観察（植生）」及び「新人大会の審査基準」についての講習と、もう一つは、新人大会の二日間のコース（踏査と縦走）の確認です。

新人大会の二日目は、松尾尾根から釈ヶ岳、猫岳を経由して羽鳥峠から朝明に戻るというコースです。チームごとの行動になるので、参加学年が1・2年生でもあり、どうしても不安があります。過去に、大事には至りませんでしたが、道迷いの事例もあり、コースの確認は重要です。

しかしながら、今回は台風22号の接近で前線が刺激され、29日の昼頃には大雨も予想されるという状況になり、現地で登山をするには危険を伴うと判断しました。29日の朝、大荒れになる前に下山させることにしました。二日目の縦走コースを確認できないのは、大変に残念でしたがやむを得ません。それに伴い、29日の13時に頼んであった三重交通の臨時バスを、午前8時に繰り上げてもらう交渉をしました。三重交通のご尽力により、その時間に4台のバスを朝明に配車していただけることになりました。

2017年(平成29年)11月4日(土曜日)　讀賣新聞

高校生登山　命守る研修

那須の事故教訓　顧問ら24人「基礎から」

地形図の読み方を学ぶ高校登山部の顧問ら（3日、富山県立山町の国立登山研修所で）

栃木県那須町で3月、登山講習会に参加していた県立大田原高校の生徒ら計8人が死亡した雪崩事故を受け、国立登山研修所（富山県立山町）は3日、新設した高校指導者向けコースの初の研修を始めた。全国の登山部顧問ら24人が参加、5日まで実技指導などを実施する。

同研修所は、国の施設として唯一の登山指導者養成施設で、大学登山部や山岳会のリーダーを受け入れている。3月の雪崩事故を受け、同研修所は、高校の指導者にも生徒を安全に引率するために必要な知識と技術を習得してもらうべきだと判断、高校登山部の顧問向けに登山を基礎から指導する「高校等教職員研修コース」を新たに設けた。研修は、同研修所などで、地形図から危険箇所を予測して登山計画を立てて現地まで行く実技や有識者らによる講義を行う。

この日行われた開会式で、栃木県教育委員会の事故検証委員を務めた北村憲彦・名古屋工業大教授(59)は「指導者は命を預かる重い責任がある。安全をどう確保するか学んでほしい」とあいさつした。

事故が起きた講習会に生徒らが参加した栃木県立真岡女子高校のワンダーフォーゲル部副顧問、矢島直人教諭(35)は「こういう研修を受けたいと思っていた。知識と技術を身につけ、生徒に伝えたい」と語った。

同研修所の宮崎豊所長(63)は「基礎が分かれば山岳事故は防げる。各県に登山技術を広めたい」と話した。

Renopoint
http://www.renopoint.jp
Original Wear & Goods
オリジナルウェア・CMウェア（広告掲載）
カジュアルユニフォーム&グッズ
デザイン・企画・制作
お気軽にお問合せ下さい。
特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)
株式会社リノポイント　〒491-0835　愛知県一宮市あずら1-5-7
TEL:0586-58-5021　FAX:0586-58-5022　E-mail: ito@renopoint.jp

名古屋駅前の山用品専門店
駅前アルプス
〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-10
名古屋クロスコートタワー 1F
TEL 052-565-1417

28日の一日目の講習会は、雨の降る中でしたが、室内、屋外（傘をさして）とも予定どおり講習を行いました。「気象・天気図」では、初級・中級・上級と分けて「読図」では基礎（机上講習）・実地（踏査）と分けて、「植生」はあらかじめ用意したリストの植物を探して確認するというやり方で行いました。

講習後は、各校ごとに夕食をとり、その後全体で交流会を行いました。最近の高校生は、スマホで調べるということに長けており、ネットでおもしろそうなクイズを探し、交流会はすぐクイズ大会になる傾向が強いです。

翌29日の朝は、閉講式も行わず、各校ごと朝食を済ませたら、8時までに朝明駐車場に向かい、臨時バスに乗車し帰路につきました。

講習会としては不十分でしたが、開催することができて本当に良かったと思います。

（やまびこ山想会）

冬山遭難対策会議

～25隊105人が入山～

冬山遭難対策会議が、12月19日県スポーツ会館であり、午後7時からリーダー及び代理者など27人が出席した。

冒頭、安藤会長から「毎年冬期登山には事故が起きていますが、どうか慎重を期して事故の無いよう願います。」と挨拶があり、続いて年末年始の気象について、気象予報士・大矢康裕氏から講義が行われた。

まず冬の気象について「寒冷で乾燥したシベリア気団が優勢になり、西高東低の気圧配置が強まる。つまりシベリア高気圧の冷たい空気を東にある低気圧が日本付近に引っ張り込む。また北北西や西風（雲の流れで風向きがわかる）で、日本海からの西の風が直接当たる山（大山、白山）では雪が降りやすくなる」「12月25～27日は冬型の気圧配置が強まり、日本海側の山では降雪量が増える。年末年始には強い寒波は来ない見込み。ただ2～4日は冬型になる」などと説明があった。

次に、今年度の年末年始に冬山登山を予定している14団体のリーダーらによる山域別の検討が行われ、計画書を交換し合ってそれぞれ話し合われた。

最後に各山域の幹事パーティーを決め、安全登山を誓い合って終了した。

平成29年度 冬山入山状況

H29.12.19現在

▲穂高岳方面

(No.)	(所属団体名)	(登山期間)	(登山ルート)	(リーダー)	(人数)
1	千種アルパインクラブ	12/30～1/3	湯俣～北鎌尾根千丈沢側岩壁登攀～湯俣	早戸 健太郎	2名
2	豊田自動織機	1/3～1/5	中房温泉～燕山荘ＢＣ～燕岳	石山 卓範	3名
3	蒲郡山の会	12/29～12/31	徳沢ＢＣ～蝶ヶ岳～横尾～徳沢ＢＣ	岩瀬 幹生	1名
4	豊橋山岳会	12/28～12/30	徳沢～蝶ヶ岳往復	原田 行弘	1名
5	〃	1/2～1/4	錫杖岳	岩本 英基	3名
6	名古屋山岳会	12/30～1/3	南岳西尾根	丹羽 大輔	3名
7	〃	12/29～12/31	合戦尾根～燕・ピストン	伊藤 優子	3名

▲白馬・後立山方面

1	チーム猫屋敷	12/30～1/8	唐松岳～五竜岳～鹿島槍ヶ岳	堀尾 綾平	2名
2	岡崎山岳会	12/29～1/2	爺ヶ岳東尾根・ピストン	永田 昌美	7名
3	ＧＳＡ	12/29～1/3	1767ピーク～1978ピーク～爺ヶ岳山頂・ピストン	大森 益男	3名

▲南アルプス方面

1	チーム猫屋敷	12/29～1/5	聖岳東尾根～聖岳～茶臼岳	鈴木 脩平	2名
2	岡崎山岳会	1/2～1/4	仙丈・甲斐駒	中島 義政	4名
3	豊田山岳会	12/29～12/31	塩見岳	坪井 建樹	6名
4	〃	1/4～1/7	鳳凰三山	羽根田 まさ子	4名
5	〃	1/5～1/7	入笠山	山本 幸久	5名
6	やまびこ山想会	1/6～1/8	甲斐駒ヶ岳（黒戸尾根）	宮森 千治	1名
7	豊橋山岳会	12/29～1/5	農鳥・北岳・仙丈・甲斐駒	木村 崇	4名
8	〃	1/2～1/3	北沢峠から甲斐駒ヶ岳往復	久保田 敏康	3名

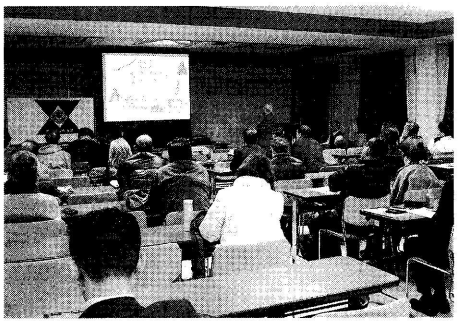
▲八ヶ岳方面

1	デンソー山岳部	12/29～12/31	美濃戸口～赤岳鉱泉～硫黄岳／赤岳	舘谷 昌弥	6名
2	豊川山岳会	12/30～12/31	富士見高原ゴルフ場～青年小屋～権現岳(往復)	河合 芳尚	4名
3	やまびこ山想会	12/23～12/24	硫黄岳・阿弥陀岳・赤岳	浅野 清三	18名
4	豊橋山岳会	12/30～1/1	ジョウゴ沢・広河原沢	岩本 英基	4名

▲その他方面

1	岡崎山岳会	12/29～12/30	本白根山／榛名山往復	今泉 卓巳	7名
2	トヨタ自動車山岳部	12/29～12/31	菅の台～池山尾根～空木岳	井出 敦夫	4名
3	名古屋山岳会	12/28～1/2	北海道層雲峡アイスクライミング	田中 悠太	2名

＝第21回「遭難を考える」講演会＝
最新の科学による雪崩の解析
－その構造と運動－



11月24日(金)第21回「遭難を考える」講演会が、県スポーツ会館で、冬シーズンを前に雪崩の事故を防ぐためこの企画が設けられ、一般・会員ら58名が聴講しました。

講師に名古屋大学大学院環境学研究科教授・西村浩一先生を迎えて行われ、先生は黒部峡谷志合谷での雪崩観測にチャレンジ、またノルウェーでの人工爆破による本物の雪崩実験では秒速60ｍの大規模雪崩について、その内部構造、舞い上がる雪煙の構造を明らかにし、スキージャンプ台を利用した雪崩の模擬実験やコンピューターシミュレーションも駆使して、より防災に役立つ実用的な雪崩の運動モデルの開発に取り組んでいる様子など語られた。

また雪崩を長年にわたり科学的な解明に取り組み、強烈な爆風タイプの雪崩や大規模な雪崩で起きている複雑な雪の動きや雪煙の舞い方、雪崩の速度や圧力の凄さを解説していただきました。

最後の質疑応答の中で『雪崩の中で泳ぐことはできるか』には「雪を掻くことはできるが、流動中の雪の密度が低いので、雪崩の表面に浮き出ることは不可能」また「気温が上がっても雪が溶ける気温でないなら雪崩には影響しない」「大きな音に反応して雪崩が起きることは絶対にない」など興味深い話を聞くことができました。

講演会を聴講して

千種アルパインクラブ　**武藤　浩**

テーマは以前に提案させて頂いたもので、待望と感激の一時間半でした。感想としては、あんなにメモを取る余裕がないプレゼンは初めて、情報量が半端じゃない。講師の泰然自若とした情熱と行動力、オーラの凄味がありました。自分も含めあきらかに聴く側の準備（予習）の不足が感じられました。

雪崩自体が厄介な代物で、その概念を正しく理解し、実践的な対応の知恵を高める難しさを学びました。

常任理事会

▼12月5日(火) ＯＭＣビル
(出席者) 安藤会長、高橋副会長、北村理事長、岩瀬副理事長、多田、高木、椙山、岩狭、星、栗木、谷澤、木田、木田(陽) 各常任理事、中平等顧問

Ⅰ 報告事項
1. 高体連秋季登山講習会（10／28～29釈迦ヶ岳）安藤
2. 山の日を祝う会（10／28～29北谷小屋）安藤
3. 第8回全国高校選抜クライミング選手権愛知県予選（11／5ビックロック名古屋）岩狭・7名が本大会へ
4. 読図講習会（11／11緑地公園）岩瀬
5. 高体連新人大会（11／11～12釈迦ヶ岳）安藤
6. 第40回自然観察会&清掃登山（11／12犬山）栗木
7. Jrクライミング記録会（ロックドランカー）岩狭
8. 第21回「遭難を考える」講演会（11／24県スポ）北村

Ⅱ 審議・お知らせ事項
1. ボルダリングジャパンカップの開催（12／9～10愛知・プレイマウンテン）
2. 高等学校安全登山指導者研修会（12／10～11東京）
3. 冬山遭難対策会議・冬山の天気（12／19県スポ）
4. 第8回全国高等学校選抜クライミング選手権（12／23～24）
5. 指導員集会（1／13刈谷）
6. 総合登山技術検定（1／14南山）
7. 第46回親睦スキー・雪山ハイク（2／17～18白鳥ウイングヒルズ）
8. 自然保護委員総会（2／20県スポ）
9. 雪山技術講習・指導員研修会（2／24～25大日ヶ岳）
10. 愛知山岳マラソン（3／3猿投山）
11. 平成30年度愛知県スポーツ会館の年間利用予定

編集後記

■明けましておめでとうございます。

昨年も岳連の事業に際し、その都度内容や感想文など執筆いただき有り難うございました。また皆さんのご協力により一つ一つの事業内容が明確に伝わり、今後の活性化にも繋がっていくことと思っています。（N）

◆2・3月スケジュール

月　日	内　容
2. 6	常任理事会（ＯＭＣビル）
2.13	登山勉強会（豊橋）
2.17～18	第49回岳連・親睦スキー・雪山ハイク(ウイングヒルズスキー場)
2.20	登山勉強会（県スポーツ会館）
〃	自然保護委員総会（県スポーツ会館）
2.24～25	雪山技術講習会（大日ヶ岳）
3. 3	愛知山岳マラソン大会（猿投山）
3. 6	常任理事会（ＯＭＣビル）
3.20	理事会（県スポーツ会館）

平成30年度愛知県山岳連盟定時総会
◎4月21日(土)午後1時30分・県スポーツ会館

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員
アルパインツアーサービス
海外トレッキング／世界の山旅 専門旅行会社
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
個人＆グループでのご利用お待ち申し上げます
名古屋営業所 TEL：052-581-3211
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2第3千福ビル3階
FAX:052-561-8338 E-mail:nagoya@alpine-tour.com
ホームページ http://www.alpine-tour.com